

家電リサイクルプラント見学会を開催しました。

平成23年12月5日(月) 於:平林金属(株)リサイクルファーム御津

1. 目的

家電リサイクル法は、廃家電4品目(エアコン、テレビ、電気冷蔵庫・電気冷凍庫、電気洗濯機・衣類乾燥機)について、消費者による適正な排出、小売業者による消費者からの引取り及び製造業者等への引渡し、製造業者等によるリサイクルを推進するために、平成13年4月に施行されました。その後、製造業者等が引き取ってリサイクルを実施した廃家電数は増加傾向にあり、また、リサイクル率も増加傾向にあるなど、同法の着実な施行は一定の成果を得ています。しかし、一方で、不法投棄問題、廃家電等が途上国に輸出され有害物質等が適正に処理されずに環境問題を引き起こすなど様々な課題も抱えています。

こうした問題を解決していくためには、廃家電の排出元である消費者が家電リサイクルの制度と実態について理解を深め、適正な排出を推進することが重要と考え、平成23年12月5日に家電リサイクルプラントへの見学会を行いました。

2. 見学会内容

- (1)家電リサイクル法の制度概要の説明
- (2)家電リサイクルを巡る諸問題の説明
- (3)家電メーカーの取り組みの説明
- (4)家電リサイクルプラントの説明及び見学

見学先 平林金属(株)リサイクルファーム御津
(岡山県岡山市)



3. 見学会参加者

今治市内の消費者関係団体の構成員

4. 結果概要

当日は今治市の消費者関係団体の構成員37名が参加しました。参加者は、家電リサイクル法の制度や家電リサイクルを巡る諸問題、家電メーカーの取り組みや、排出者負担であるリサイクル料金がどのように使われているのかについての説明に熱心に耳を傾け、説明者へ質問を投げかけたり、意見交換を行ったりしました。

また、家電リサイクルプラントの見学では、家電リサイクルプラントにおけるリサイクルの実施状況についての説明に熱心に耳を傾け、適正な排出による適正な処理がどのようなものかを実感し、家電リサイクルへの理解を深めました。



5. アンケート結果概要

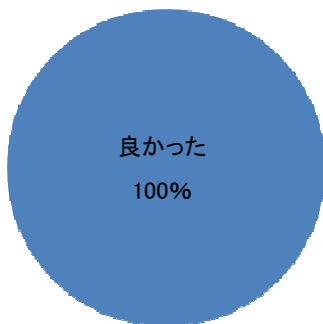
見学後、参加者にアンケートを行いました。その概要は以下のとおりです。

(1) 家電リサイクルプラント見学会について

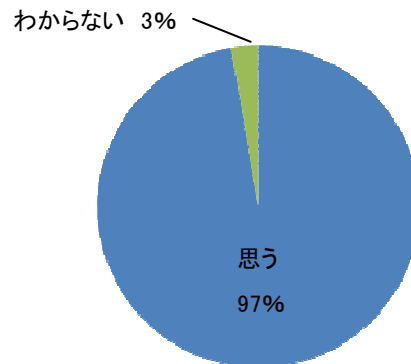
今回のプラント見学の内容については、家電がこのような工程で処理されていることを初めて知った、丁寧に資源の回収をしているのでおどろいた、少ない資源をいかに再利用すれば良いか考えさせられた、等の御感想を頂戴しました。本見学会により家電リサイクルの制度やリサイクルプラント等についての興味・理解が深まった結果と考えられ、参加者の方々には適正な排出による適正な処理についての御理解を深めていただけたようです。

見学後は消費者団体として見学会の内容を地域の人に伝えていきたい等の御意見をいただくとともに、ほとんどの参加者から、今後もこのような見学会を開催していくべきとの御意見をいただきました。

問. 本日の家電リサイクルプラント見学会の内容は、全体的に見ていかがでしたか？



問. 本日のような見学会を今後とも開催していくべきだと思いますか？

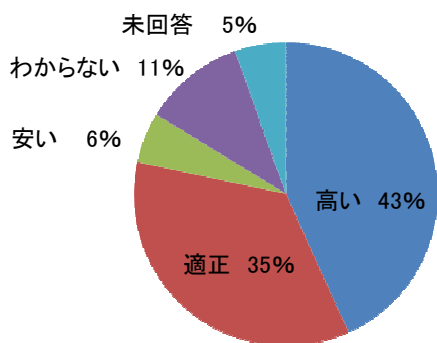


(2) リサイクル料金について

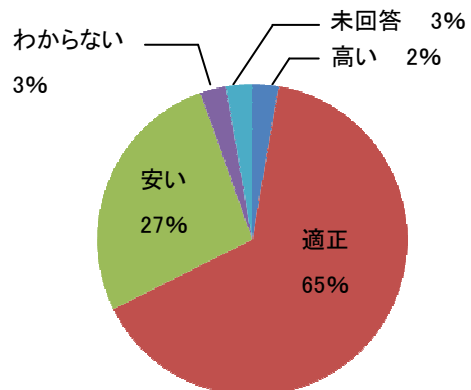
排出者負担であるリサイクル料金については、見学前には「高い」と回答された方の割合が43%を占めていましたが、見学後は2%に減少し、「適正」、「安い」と回答された方の割合の合計は、41%から92%にまで増加しました。

手作業による分別などが行われているリサイクルの現場を見学していただいたことで、参加者の方々には、リサイクル料金について御理解を深めていただけたようです。

問. リサイクルプラントの見学前、リサイクル料金についてどのように感じていましたか？



問. リサイクルプラントの見学後、リサイクル料金についてどのように感じましたか？



参考: リサイクル料金(大手家電メーカーの例) 平成23年4月時点

エアコン	2, 100円	冷蔵庫・冷凍庫	3, 780円(小)
テレビ	1, 785円(小)		4, 830円(大)
	2, 835円(大)	洗濯機・衣類乾燥機	2, 520円